

1. 件名：リサイクル燃料貯蔵株式会社の新規制基準適合性審査に関する面談について

2. 日時：令和元年12月2日（月）10時30分～10時50分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

小山田安全規制調整官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、
永井主任安全審査官

リサイクル燃料貯蔵株式会社 貯蔵保全部 土木・建築担当部長 他5名

5. 要旨

(1) 原子力規制庁から、リサイクル燃料貯蔵株式会社に対して、第243回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合（平成30年9月14日開催）以降、新知見等や先行施設の審査知見を踏まえた対応について、以下の事項を今後の審査会合で説明するように求めた。

- ・ 下北断層の上載層としての役割を果たしている砂子又層の年代について、自社で測定しているデータもあるのであれば、それを提示するとともに、年代観について説明すること。
- ・ 中野ほか編「日本の火山（第3版）」WEB版が更新されたことに伴い、当該新知見を適切に審査資料に反映すること。
- ・ 先行施設の審査知見を踏まえ、八甲田山を対象とした降下火砕物シミュレーションを行い、敷地における堆積層厚を確認すること。

(2) リサイクル燃料貯蔵株式会社から、了解した旨の回答があった。

6. 提出資料

なし